

登録コード	A3595413		開講年度	2026			
授業科目	専攻研究Ⅱ					担当教員	山田 明義
英文授業名	Thesis ResearchⅡ						
単位数	5	講義期間	前期（随時）	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	
講義室				授業形態	演習	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				⇔	【授業の達成目標】	
	2 0 2 2 Aカリ，2 0 2 1 Aカリ，2 0 2 0 Aカリ，2 0 1 9 Aカリ						
	【2022年度以前カリキュラム対象】専門的な知識や研究能力を修得している				⇔	研究計画を立案できる。	
	【2022年度以前カリキュラム対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って問題をとらえ解決する能力を修得している				⇔	立案した研究計画に沿って，調査・実験を遂行できる。	
	2 0 2 6 A3編（24A），2 0 2 5 A3編（23A），2 0 2 4 Aカリ，2 0 2 3 Aカリ						
	【2024年度以前カリキュラム対象】専門的知識や研究能力を基礎としての確かな情報を収集・理解し、発信できる能力を修得している。				⇔	立案した研究計画に沿って調査・実験を遂行し，目的とするデータを収集できる。	
	【2024年度以前カリキュラム対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って様々な課題をとらえ、解決する能力を修得している。				⇔	立案した研究計画に沿って行った調査・実験で収集したデータに基づき，研究計画の修正の必要性について検討できる。	
(2)授業で学べる「テーマ」	その他						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	この授業では，実験操作（野外調査を含む）を通じて，専門分野の研究活動に必要な技術を修得します。 教科書は指定しませんが，適宜プリントを配布します。						
(5)授業計画	4月：研究計画 5-7月：実験操作 8月：データ分析 期末試験の期間内に授業アンケートを実施。						
(6)自主学習の指針	各実験操作の前後に行うディスカッションを踏まえて，関連事項についての積極的な自主学習に励んでください。						
(7)成績評価の基準	秀：授業の達成目標水準から見て卓越している。 優：授業の達成目標水準よりかなり上にある。 良：授業の達成目標水準よりやや上にある。 可：授業の達成目標水準にある。 不可： 授業の達成目標水準にない。						
(8)事前事後学習の内容	各実験操作の前後に行うディスカッションでの資料作成。						
(9)テストやレポートの予定	事前事後学習で作成する研究資料で対応します。						
(10)成績評価の方法	事前事後学習で作成する研究資料の内容で評価します。						
(11)質問、相談への対応および連絡先	随時，口頭またはメール等で対応します。						
(12)履修上の注意	特になし						
【教科書】	指定しない。						
【参考書】	現代菌類学大鑑（堀越孝雄ほか訳），共立出版 The Fungi, 3rd edn. (S.A. Watkinson, L. Boddy, N.P. Money 著), Academic Press Mycorrhizal Symbiosis, 3rd edn. (S.E.Smith, D.J.Read 著) Academic Press						